

世界銀行が宮城県沿岸部を視察し、津波工学研究室を訪問しました(2011/7/25)

7月25日(月)、世界銀行(World Bank)のGlobal Facility for Disaster Reduction and Recovery(GFDRR)のSaroj Kumar Jha氏と岩崎弥佳氏、および国際協力機構(JICA)を含めた6名が沿岸被災地の視察を行いました。GFDRRは、世界銀行が管理する信託基金の一つで、災害の危険性の高い低・中所得国において、各国の開発戦略等に防災を中心的に位置づける取組みを支援することを目的とした活動をしている機関です。今回の視察では、当センターのAnawat(アナワット)研究員が、石巻市(鹿島御児神社)、東松島市(市役所、宮戸島)、松島町(野蒜海岸)、仙台市(仙台港、荒浜町)を案内し、津波やそれに伴う被害のメカニズムに関する解説を行いました。その後、当センターの津波工学研究室にて、今村教授を交えて、地震・津波被害の一般的な特徴や、これからの復興に向けたまちづくりに関する意見交換を行いました。なお、Anawat研究員が現地視察に使用した資料は、以下のJICAのホームページに掲載される予定です：http://www.jica.go.jp/english/operations/thematic_issues/water/earthquake/index.html



石巻市沿岸部(鹿島御児神社から東に臨む)



東松島市役所での意見交換会



東松島市・宮古島



現在の日本三景松島の状態



被害を受けた仙台港



世界銀行、JICA、津波研メンバー